

議会だより

長生村議会ホームページ：<http://www.vill.chosei.chiba.jp/new-site/gyousei/handbook/gikai/index.html>

第139号/2012. 11. 1



自衛隊・救急隊の救助訓練を見守る参加者

10月21日（日）
津波避難訓練（一松小学校）



村の木「ラカンマキ」

定例会9月会議

主な内容

	ページ
●定例会で決まったこと……………	2
●一般質問（9名）……………	5
●議会活動の報告……………	12
●委員会からの調査報告……………	13

発行/長生村議会

編集/議会だより編集委員会



村の花「ハマヒルガオ」

議会定例会9月会議

平成24年9月会議を、9月19日から9月21日までの3日間で開催しました。
 本会議では、報告3件、認定5件、同意2件、議案10件、特別委員会委員長報告、所管事務調査の報告、総合開発審議会委員の指名、議員派遣についてなどが上程されました。
 一般質問では、9人の議員が論議を交わしました。

平成23年度決算審査特別委員会を設置

平成23年度一般会計決算は、5つの特別会計の決算認定議案が、監査委員の意見を付して上程されました。会計管理者より決算案の概要説明があり、監査委員会の意見書の説明が行なわれました。

総括質疑がなされ、後に決算審査特別委員会が設置され、7人の委員が決まりました。監査委員の意見の要旨

一般会計

不納欠損額、収入未済額とも前年比微減しているが依然として高額である。

特に収入未済額は2億を超えており、大半は固定資産税の過年度繰越分によるもので、必要であれば差し押さえ等

の措置を講じ収入未済額の減少に努められたい。

また、事業全般にわたって、予算の流用が見られる上、多額の不用額が発生しているため、的確な予算編成、執行に努められたい。

国民健康保険特別会計
 不納欠損額および収入未済額が発生しており、特に収入未済額は年々増加し、過年度繰越分の徴収率も低下、更なる徴収努力を望む。

公共下水道事業特別会計

分担金および負担金に不納欠損額、収入未済額が発生し、使用料も収入未済額が発生している。解消に努められたい。

使用料および手数料の収

入額と維持管理費の支出額比較は維持管理費支出が多い。今後資金不足が予測されるので、接続率の向上、経営基盤の安定化の検討を。

介護保険特別会計

不納欠損額、収入未済額の解消に努め、事業の周知、制度の理解を深め、介護予防事業の一層の充実をはかり、経費削減に努め収納率の向上に努められたい。

後期高齢者医療特別会計
 普通徴収保険料の現年度分および滞納繰越分に収入未済額が発生している。解消に努められたい。

決算審査特別委員会委員

- 委員長 片岡啓治
- 副委員長 関 克也
- 委員 高山昌治・矢部眞男・山口裕之・門口昭・石川吉一

平成23年度主要施策成果（抜粋）

（単位：千円）

No	事業	事業成果	事業費
1	会議録検索システム導入事業	開かれた議会を推進するため、会議録を市のホームページから閲覧できるようにした。	721
2	防災対策事業	避難所用の非常食、飲料水、薬品等物品を購入した。また津波避難マップを作成し、各戸配布を実施した。	10,733
3	旧長生高等技術専門学校施設管理事業	千葉県から長生高等技術専門学校跡地を購入。	1,470
4	後期高齢者健康診査事務費	加入者の健康診査を実施。平成23年8月から人間ドックについても開始した。	2,429
5	放課後児童対策事業	平成23年度から、学童保育所の開設時間を午後7時まで延長。 ・放課後児童育成事業委託料 17,903千円	18,137
6	子育て支援センター事業	育児相談 月3回、ことばの相談 月1回、子育て講演会 年3回実施	704
7	外灯維持管理費	既存外灯をLED灯に更新。（更新率約10%） 小中学校、駅、公共施設周辺の灯りを十分に保ち、夜間の安全を確保。	8,743
8	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	補助率：1kW当たり3万円の補助。3.5kW（105,000円）を限度とする。	974
9	一松小屋上避難用階段等設置事業（H23・H24継続事業）	一松小学校屋上に避難場所を設置。平成24年6月完成。（1,000人避難可能）	13,788

副村長の選任を同意

平成24年7月15日より不在となっている副村長に、田中孝次氏を選任することについて同意しました。

同氏は人望が厚く、人格・識見ともに優れ、副村長として適任と認められたものです。

宮成238番地



田中 孝次 氏

教育委員の任命を同意

平成24年9月30日で任期満了となる教育委員会委員として、引き続き、齋藤有芳氏を任命することについて、同意しました。

同氏は、教育委員を2期務め、人格高潔であり、適任と認められたものです。

本郷3188番地



齋藤 有芳 氏

補正予算を可決

既定の一般会計予算総額に歳入歳出それぞれ245万2千3百円を追加し、44億5644万3千円とする一般会計補正予算案が上程され、全員一致により可決し

ました。

主な補正内容は、

- ①千葉県緊急雇用創出事業を活用した公有財産台帳整備事業939万円（財産台帳の電算化整備）

- ②農業振興事務運営費・備品購入費193万円（農産物加工所の圧力鍋等の購入）
- ③公共下水道事業特別会計繰出金661万円
- ④文化会館の電話交換設備改修工事232万円などです。

特別会計補正予算は、次のとおりです。

- 国民健康保険特別会計補正額2341万5千円
- 公共下水道事業特別会計補正額1657万6千円
- 介護保険特別会計補正額127万円

議員派遣を決定

村における最善の津波防災対策の検討を行うことを目的とした、先進地研修視察についての発議案を提出し、可決しました。

視察日 11月15～16日
視察先

- 静岡県御前崎市（津波避難タワー）
- 焼津市（築山公園）

9月会議の審議結果一覧表

議決番号	件名	議決結果	
報告第5号	継続費の継続年度終了による精算について		
報告第6号	平成23年度長生村健全化判断比率の報告について		
報告第7号	平成23年度長生村公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		
認定第1～5号	平成23年度長生村一般会計ほか4特別会計の決算認定について	決算審査特別委員会へ付託	
同意第2号	副村長の選任につき同意を求めることについて	同意	賛成多数
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	全員一致
議案第34号	長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決	全員一致
議案第44号	長生村防災会議条例及び長生村災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第45号	長生村税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第46号	総合開発審議会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第47号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決	全員一致
議案第48号	工事請負契約の締結について	原案可決	全員一致
議案第49号	平成24年度長生村一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全員一致
議案第50号	平成24年度長生村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
議案第51号	平成24年度長生村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
議案第52号	平成24年度長生村介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
	産業土木常任委員会所管事務調査委員長報告		
	総合開発審議会委員の指名について	議長による指名	
	議員派遣について	原案可決	全員一致

議会定例会 7月会議

教育委員会委員の任命を同意

教育委員の退職による後任者に木島晃一氏を任命することにについて、同意しました。

同氏は、教育・文化に関して優れた識見を有しており、本村教育委員会委員として適任と認められたものです。

一松 2728番地

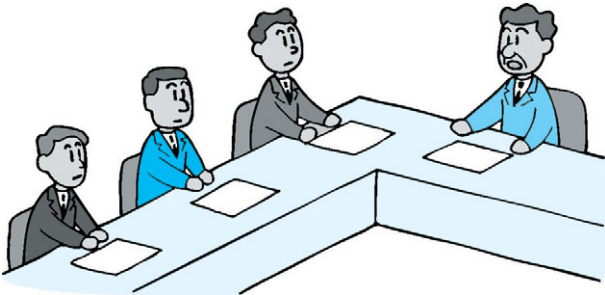


木島 晃一 氏

幸福の科学大学建設にかかる調査特別委員会を設置

宗教法人「幸福の科学」を母体とする大学建設案が示されました。

議会では、住環境・自然環境・地域経済等に与える影響について広く意見を聴取し、村民が大学建設について抱いている不安や期待について明らかにするため、調査・研究する必要があるため、調査特別委員会を設置しました。



議会定例会 8月会議

一般会計補正予算を可決

既定の一般会計予算総額に歳入歳出それぞれ1345万9千円を追加し、4億3192万円とする一般会計補正予算案が上程され、全員一致により可決しました。

歳入の補正内容は、

- ① 住宅用太陽光発電設備導入促進事業などに対する県補助金 125万円
- ② 前年度繰越金 1220万9千円です。

歳出の主な補正内容は、

- ① 外灯のLED化など外灯維持管理費 135万円
- ② 健康診査事業にかかる電算システムの改修委託費用 1025万9千円
- ③ ハウス農家の硬質ビニール張替に対する補助、輝けちばの園芸産地整備支援事業補助金 90万円
- ④ 住宅用太陽光発電設備導入補助金 52万5千円などです。

長生中・校庭整備請負契約を可決

指名競争入札の結果による落札者との工事請負契約を可決しました。

○契約の金額

7485万8280円

○工期

平成24年8月18日から平成24年12月25日まで

○工事名

長生中学校・校庭整備工事

○契約の相手方

三ツ和総合建設業協同組合

代表者 高橋正則

千葉県花見川区三角町

782110

○契約の方法

指名競争入札



9月会議

一般質問

9人の議員が議論を交わしました。

鈴木議員……………5ページ
 千葉議員……………6ページ
 関 議員……………7ページ
 石川議員……………7ページ

矢部議員……………8ページ
 井下田議員……………9ページ
 門口議員……………10ページ
 増子議員……………10ページ
 山口議員……………11ページ

地震と耐震化について

鈴木 征男 議員

議員

中央公民館の耐震化についてどのように考えているか伺います。

村長

施設全体の老朽化が進んでおり、建て替えの検討を進めてまいります。

議員

検討はどのように進めるか伺います。

生涯学習課長

今年度内に関係各課の職員で検討委員会を設置し、進めます。

議員

中央防災会議は、家具転倒防止の強化により、死亡者をかなり減らすことができる

としています。

屋内の地震被害対策について村の考えを伺います。

福祉課長

ご指摘の家具転倒防止の助成ですが、地震災害を減災することが必要不可欠の制度と考えています。

現在、実施要綱を策定しています。

緊急避難施設について

議員

津波被害から避難する緊急避難施設の整備について村の考えを伺います。

村長

津波避難施設整備検討業務を、建設コンサルタント会社に委託しています。

議員

委託業務の報告はいつまでか伺います。

村長

千葉県津波浸水予測図が発表され、被害想定エリアを現在整理中で、平成25年1月末の納期で、平成25年度当初予算に計上できるよう考えています。

議員

村長の公約は「一松地区に緊急避難施設をつくる」とありますが、中央公民館の移転先との関係があるか伺います。

村長

私の個人的な考えは、一松地区の地形上、4ヶ所程度必要ではないか。

また、鉄骨の避難タワー、土盛、人が集まれる集会所形式がいか調査検討中です。

一松地区に公共施設があれば一松地区に中央公民館を建てたいという私の希望です。

屋上に避難出来る施設を併用するという考えを持っています。

議員

一松海岸の地区から、蟹道・高根小学校に続く道路と、大根から一松小学校に続く道路の拡幅計画の見通しについて伺います。

建設課長

平成25年測量26年用地買収と考えていますが、工事施工も同時着工も可能と考えています。

緊急時の通報
について

議員 緊急時の障がい者・耳の不自由な方への通報について伺います。

村長 千葉県防災メールが有効です。

また、村が配信する防災メールへの登録をお願いします。

議員 耳の不自由な方全員に、きめ細かい対策ができるか伺います。

福祉課長 手紙などで個人に通知し、加入促進をはかりたいと考えています。

議員 緊急時の公衆電話は有効です。設置場所の周知を求めます。

総務課長 広報で周知をしたいと思います。

高根小学校の体育館と
運動場について！

千葉 一雅 議員

議員

高根小学校の体育館について

は、老朽化に伴い、運動場と一体で整備を考えていくとのことでしたが、現在直線100mコースも取れない狭い運動場です。

今後建て方によっては、多くのメリットが考えられますが、今後の対応を伺います。

村長

高根小学校の体育館は老朽化が

進み、また運動場が狭いため、建設にあたっては用地の確保が必要であり、これらを含め「第5次長生村総合計画・実施計画」に位置づけ、平成25年度に用地確

保を考えています。

議員 関連質問で建設課に伺います

が、高根小学校正門前から北門前までの道路改良について進捗状況を伺います。

建設課長 現在、税務協議を終え、用地取得交渉を行っています。

議員 3月の道路線形の質問時には、

今後学校教育課とも連携を取りながら進めるとのことだったが、現在やっているか伺います。

建設課長 設計では2・5mの歩道で、ラ

ンチルームのある部分だけ1・3mに狭くなる計画をしています。

議員 体育館を建て直すに当たり提案

させていただけますが、体育館を2階建てにし、1階をランチルームと厨房、2階を体育館にするような複合施設は考えられないか。写真は、昭和56年建築で、

2階が体育館、1階が厨房と300席ある食堂になっています。

2階建てにするメリットは、①運動場が広くなり100

mの直線コースが取れる。
②今まで2学年ずつ交代で利用しているランチルームが、全学年一同に食事することができるとのこと。

③現在のランチルームを移動すれば、学校前の道路線形をまっすぐにできる。

④体育館の2階部分は海抜10m超となり、安全な避難場所、防災、津波対策にな



一宮町東浪見にある「船橋少年自然の家」



一階 食堂

ると思うが村の見解を伺います。

学校教育課長 今後、先進事例も考慮し、複合施設も検討して、より良いものを作りたいと思います。

議員 体育館を2階建てに建て直す場

合、現在S字型で計画進行中の学校前道路改良は、歩道も2・5m取った直線道路にできる。
来年度には決定されると思うが、二重の費用をかけるか、一時中断も考慮したらどうか。

建設課長 今後教育委員会と調整しながら事業を検討していきます。

議員 今回提案した内容について、村長の意見を伺います。

村長 特に防災対策を進めるうえで貴重な意見だと思います。

学校前の道路の改良は、子どもたちの安全確保に合わせ、二重費用をかけないよう、連携をとって、もう一度考えます。

巡回バスは任意協議と法定協議の両方を視野に

関 克也 議員

議員 巡回バスは小高村長が掲げた公約の1つです。

日本共産党議員団も平成18年5月に巡回バスの運行を求める署名646人分を村に提出し、一貫して要求してきました。

巡回バスの運行は村民の根強い要求であり、どのような手順で実施に移していくか、村の見解を伺います。

村長

村の公共交通全体の検討を行う協議会を立ち上げ、検討する方法と、巡回バスに限って実施するのであれば、住民意向調査を行い、その結

果から民間事業者との調整既存の組織を活用して検討する方法があり、先行事例を参考にしながら進めていく考えです。

議員 法定協議会方式と、任意協議の方法(巡回バスに限る)と、両方を視野に入れて実施に踏み出していただきたい。



外出支援サービスの昼間高齢者世帯への拡大を

議員

外出支援サービスの対象を昼間高齢者世帯に拡大することができないか村の見解を伺

います。

村長 現状の対象枠を拡大すること

は、民間事業者の事業運営に影響を及ぼすと考えられるため、現状のままとした

議員 福祉タクシーは、外出支援サービスの対象外である昼間高齢者世帯も利用できま

す。福祉タクシーのみ登録している人は何人いますか。

福祉課長 123人です。

議員 123人の中に昼間高齢者世帯が入っているという判断で

良いか。

福祉課長 123人のほとんどが日中高齢者世帯であつて、障がい者が数名入っていると思いま

す。

議員 昼間高齢者世帯に対象を拡大する

場合に限り、片道のみは外出支援の利用も可能とするなら、福祉タクシーの利用も増える可能性があるのではないか。

福祉課長 高齢者世帯が増加する状況です

ので外出支援の対象も増えます。

日中独居も対象に加える

と事業が成り立ちません。

議員 今、運転手不足している状態

ですから、外出支援サービスの運転手をシルバー人材センターに登録していただき、一定の賃金を支払う形で充実していくよう検討してください。

幸福の科学の土地に課税を

議員

「幸福の科学」所有地の課税の件を伺います。

村長 弁護士を立てての話し合い、あるいは裁判所の判断を仰ぐことになると思います。

約17ha部分は大学用地という話ですので、当然私の判断で5年間さかのぼって

固定資産税の納税を求めるといふことです。

災害対策の進捗状況について

石川 吉一 議員

議員

津波避難施設整備検討業務を災害対策専門家と契約したと思いますが、契約先を伺います。

村長

建設コンサルタント昭和物と契約を締結しました。

議員

この法人には、どのような受注実績がありますか。

総務課長

津波ハザードマップ作成、地域防災計画の策定等を業務とし、石巻市の復興関連まちづくり事業に取り組んでいます。

議員 現在どこまで、コンサルタント会社による調査検討が進んでいますか。

村長 津波浸水予測図や他のデータで解析中とのことです。

議員 海岸に、防潮堤として、高さ6mの土塁が完成したと想定して調査していますか。

総務課長 村としても反映して調査したいと考えていますが、被災効果のデータが出ていません。住民に説明し、

議員 意見を取り入れて防災計画を作る計画はありますか。

総務課長 津波避難施設関係では、住民説明はしませんが、地域防災計画の見直し案については、住民の意見を聞く予定です。

議員 白子町の南白亀川から長生村の内谷川へ遡上して、氾濫する可能性はありませんか。

総務課長 津波予測図では遡上するようになっています。

議員 津波は早く遠くへ逃げるのが

大事であり、避難道路の整備を要望します。

財政健全化について

議員 村長は積立金を取り崩しての予算編成で財政危機になるといつていますが、その根拠と財政健全化の考えを伺います。

村長 財政調整基金を取り崩しながらの村政運営に警鐘を鳴らしました。

自主財源確保のため、地場産業の活性化、村有地へ企業誘致、村税等の確保策などの検討をします。

事業執行の体制強化、事務の効率化などで、むだな支出の削減をします。

議員 平成23年度の繰越金はいくらありましたか。

企画財政課長 3億3,700万円です。

議員 繰越金を発生させることなく、村民に還元できるように予算執行を、お願いします。

村長 財源、事業執行を精査しながら住民のために使っていくます。

議員 前村長の実施してきた支出削減の、これから検討していくものをお聞きします。

村長 非常に効果的であつたものを継承します。入札方法については、検討の余地があるという思いです。



土塁堤建設予定地付近

信友笹島 4ヘクターの活用を 矢部 眞男 議員

議員 小高村長は所信表明の中で、信友笹島の村有地(4ha)に太陽光発電を設置することですが、具体的な計画があるか伺います。

村長 この土地につきましては、利用方法は白紙の状態ですが、利用計画を作成し、震災以降、住民の関心度が高い、防災対策並びに自然エネルギーの活用について、利用計画の中で活かさればと考えています。

太陽光発電の設置もその一つの候補として検討しています。

議員 この土地に太陽光発電を設置した場合、何世帯くらい電力供給が可能か伺います。

下水環境課長 一年間で発電できる予想発電量は約200万キロワットで、一般家庭の消費電力は年間約3500キロワットです。約570世帯に電力供給できる計算になります。

議員 太陽光発電所と災害時の一時避難所としての併用は可能か伺います。

村長 6月会議の一般質問で、「信友笹島の村有地を、津波対策の一時避難所として活用しては」との意見をいただきましたが、この土地は一松海岸および一宮川から離れており、一時避難所として併用することが可能か検討しています。

議員 千葉県の想定は、一宮川に津波が遡上してもオーバーフローしないとの予測ですが、過去に、一宮川が氾濫したときは、信友南部地区まで浸水しています。

津波が遡上した場合一宮川のオーバーフローも考えれば、この土地は一時避難所として充分利用価値はあると思いますが、村の考え方を伺います。

総務課長 この土地は、津波のときの避難所またそれ以外の多目的に使える土地として、例えば、普段はサッカー場また広場として利用し、いざ災害が発生したときの仮設住宅用地、また物資等の一時ストック場所など、防災対策上、有効に利用できるものと考えています。

議員 この土地を有効利用するにはアクセス道路が必要と思われるので、事前の整備を検討いたします。

*矢部議員から他に次の質問がありました。

◇東京電力の電気買い取り枠について

千葉電子調達システム参加へ

井下田 政美 議員

議員

千葉電子調達システムは、指名

参加資格申請、電子入札等を加入自治体に代わって千葉県が行うシステムです。業務量の削減、また経費の削減等メリットが考えられます。

村の今後の対応について伺います。

村長

電子入札については、事務経費の削減、談合防止、入札参加事業者の負担軽減など、さまざまな効果が生じると認識しています。

本村においても、メリット・デメリットを検証した結果、平成25年度から参加

することです務を進めていきます。

地籍調査事業

平成26年度実施にむけて

議員

地籍調査事業の取り組みについて、過去2回質問しましたが、再度、今後の見通しについて伺います。

村長

地籍調査は、東日本大震災で復旧・復興を支えるうえでも大変重要なものであることが再認識されました。

本村としても、補助金制度を活用し、平成25年度に事業計画作成、26年度事業着手できるように、準備をしているところです。

※地籍調査とは

国土調査法に基づき、市町村の事業として、所有者は無償で土地の境界を確定し測量した結果を登記簿、地図に反映し、法務局に登記する事業です。

シエークアウト・D-I-Gの推進を

千葉市のシエークアウト（災害時初期行動訓練）では、ちば安心・安全メール等も利用し実施されました。

議員

9月19日に村のJアラートの不具合について説明がありました。村の安心・安全メール、防災メールの配信テストと併せてシエークアウトを実施する考えはないか伺います。

シエークアウトは非常にいいものだと考えています。

そこで内部で検討した結果、防災メールによる訓練を考えていこうと思います。

シエークアウトより実践的な訓練でD-I-G（災害図上訓練）があります。

村においても検討する価値があると思いますが、見解を伺います。

これも大変いいと思います。

職員で実施し、最終的に地域防災組織にもお願いしたいと思っています。

ワンポイント

避難訓練の推進

議員

印西市では、防災教育の一環として、D-I-Gに取り組んでいます。

長生中学校の取り組みについて伺います。

学校を中心として考えた場合、以前議員より指摘があったその場に適した、ワンポイント避難訓練を推進して、D-I-Gについては、総合的な教育活動の一環としたいと思っています。

*井下田議員から他に次の質問がありました。

◇国保事業の医療費適正化に向けた取り組みについて



「幸福の科学」 納税義務の確認を早く

門口 昭 議員

議員

裁判例によれば、重要な要素として、宗教法人が専らその本来の用に供する土地であれば、非課税であるとしています。

村の調査では、東京ドーム8個分もある広大な土地に、年間286回現地に行き、21回で75人がいた(31haの広さに1回につき3.4人)ということでした。

したがって、専ら宗教の用に供する土地・宗教目的に必要な土地ではないので十分課税できると思いますが見解を伺います。

税務課長

今までは、実態調査で、非課税

議員

と判断してきています。参考として、文芸学院・非課税通知事件の高裁判決は、次のとおりです。

「文芸学院は、従前より本件土地建物は、非課税と誤解しており、非課税通知により、その誤解を深めたにすぎない。

このような、誤解にもとづく違法な取り扱いは、少しでも早く是正されるべきである。

気づいた時から、法の命ずるところに従い、法の許容する範囲内で、5年間遡って課税処分をしたのは、禁反言の法理に反せず、有効である」

幸福の科学は、国土利用計画法の届出書に、宗教、大学、病院、寄宿舎、福祉の5施設に利用するとしています。

届出書の5つの利用実態はほとんどありません。村長の公約は「私は課税します」という立場です。平成20年の購入時まで遡り延滞金14・6%を加えて納付通知をしていただきたいと思います。

今、弁護士に相談しているとのことですが、前村長と同じ弁護士であるか伺います。

総務課長

前村長からの弁護士です。

議員

それは、問題があります。

石井前村長には、「非課税が相当」と言いながら、小高新村長に「課税が相当」とは言えません。

弁護士倫理に反します。石井前村長も、幸福の科学も納得しないでしよう。

別の弁護士にお願いしたほうが賢明だと思いますが見解を伺います。

村長

私は、納税の義務があると判断した立場から、門口議員のアドバイスを参考に協議したいと思います。

「1億3000万円」違法
公費 流出のその後?

議員

住民監査請求により、石井前村長が定めた要綱に基づき、年間1億3000万円の違法な公金支出が指摘されました。

新条例が、制定されるまで違法状態は続きます。

村は、「臨時職員等への支払いは違法だが、労務の対価であり、損害を受けていない。このため、損害賠償等の法的処理は発生しないと考える。」ということですが、働いた人に給料を支払うのは当たり前、その給料が、給与条例なしに支出されたことが違法なのです。

前村長の過失については、慎重に考えていただきたい。

住民訴訟で首長が、個人で払わされた事例として、京都市の「ポンポン山訴訟」が有名です。

首長に過失ありとして、約26億円の高額な賠償金を支払う義務が課された。遺族が和解金8000万円支払い、結着したという気の毒な事例です。

この先、事例を良く調べて対処するのか伺います。

総務課長

意見を参考にしたいと思います。

*門口議員から他に次の質問がありました。

◇命を守る村の防災・危機管理について

福祉サービスの 継続について

増子 勇男 議員

議員

外出支援サービスと福祉タクシーについて、継続の意志を伺います。

村長

村の総合計画に基づくものであり、廃止できる事業ではないと認識していますので継続していきます。

議員

運営の困難さはどこにあるか伺います。

村長

事業を支えるボランティアや車両の確保が課題となつてくると思います。

外出支援サービスを充実すると、民間事業者への影響が想定されますので、事

業運営については慎重に検討します。

議員

利用者が増加時の体制を伺います。

福祉課長

今後、増えてくれば当然ボランティア募集、車も増やし対応していく考えです。ただ、事業の拡大、対象者の拡大は、考えていません。今の事業の中で、対象になつてくるものすべて対応していきます。

自治会加入促進について

議員

自治会への加入促進のための具体的方針と加入の妨げについて伺います。

村長

加入の妨げとなつている要因の一つとして入会金、年会費等があります。現在、各自治会へ入会金や年会費等について実態調査をお願いしています。

議員

調査結果を伺います。

総務課長

41自治会中、回収できた30自治

会について集計しました。

入会金がない自治会が11自治会で、自治会館建設費相当額等として、入会金がある19自治会の中で一番高い入会金が12万円で安いところで千円です。

入会金、自治会費が高いことが加入の妨げになっていきます。未加入者が加入できる環境づくりの努力をしています。

議員

自治会の加入率は56%とのことですが、加入率目標を伺います。

村長

平成27年度に65%まで引き上げられれば良いと思つています。

安心、安全な道路づくり

議員

小泉橋（鈴鹿神社付近）の工事の見直しを伺います。

村長

工事着手の見通しですが、今年度から工事着手する高崎地先の歩道設置工事の終了後と聞いています。

早くして平成27年ぐらいと思われませんが、一日も早い完成を県へ要望します。

茂原市三貫野交差点改良の県への要望活動はどうなっているか伺います。

議員

平成18年に千葉県町村会を通して道路管理者である県に対し交差点改良を要望しています。

村長

現在の状況を県に確認したところ、測量および警察との交差点協議を終了し、用地交渉を進めていますので、用地の取得状況により早ければ次年度に工事着手できるこのことです。

平和事業の継続について

議員

平和事業の取り組みをやるか伺います。

村長

現在、平和事業の内容について見直しているところです。どのような方法が良いのか関係機関の意見を聞きながら取り組んでいきます。

子どもの権利条例制定を
山口 裕之 議員

議員

滋賀県大津市の中学生が「いじめ」を苦にして自殺した事件は、教育現場が現実を浮き彫りにしました。基本的な人権が尊重される教育の必要性について、村の考えを伺います。

教育長

村は、教育指針を定め、人権が尊重される差別のない学級・学校づくりを推進しています。

議員

子どもの人権が阻害される一因として、不安定雇用が及ぼす貧困と格差や、核家族化による孤立した子育て環境などがいじめの原因として挙げられるが村の見解は。

教育長

学校は児童・生徒にこつて心の居場所です。また、生命の保全はもとより決定的な事故を起こしてはなりません。私は人間関係の確立が大事故だと思います。

議員

虐待防止等対策連絡協議会の実態が、どうなっているか伺います。

村長

平成18年に設立し、平成20年5月に第1回目（の会議を開催して以降、その後は開催していません。要綱を見直し、早い時期に開催したいと考えています。

議員

早急に開催し、社会が直面していることを協議すべきです。子どもの権利の保障を目的とした「子どもの権利条例」を制定すべきではないか。

教育長

児童の権利に関する条約は、特に児童生徒に対し権利と義務を正しく理解させよ、との通知です。

この条約の趣旨を踏まえ、行政、学校、家庭、地域社会と連携をとり、望ましい人間関係を確立したいと思えます。

子どもの権利に関する条例を制定するにあたっては、関係機関と十分協議し、慎重に対応したいと思えます。

子宮けい癌検診
による費用対効果

議員

日本は子宮けい癌検診の受診率が先進国の中でも最低であり、特に20代の発症が増加しています。

子宮けい癌の撲滅に向けた予防検診の実績と効果について伺います。

村長

子宮がん検診については4月に細胞診判検査と、HPVウイルス検査を併用して行いました。

また、受診できなかった方を対象に、今年度初めて

8月に追加検診を実施し、昨年度より56人多い1,581人の受診がありました。来年度の検診対象者はHPVウイルス陽性の方100人と新規受診者のみとなり、約500万円の検診費用の削減になります。

この費用を未受診者への受診勧奨しうや癌対策に活用します。

議員

HPVワクチンの公費助成対象者の接種率並びに接種に伴う副反応について伺います。

健康推進課長

対象者は、中学1年生から高校1年生の274人です。

9月現在で213人、77%の接種率です。中学3年生は82%の高い接種率となっております。

筋肉注射なので、疼痛で失神してしまうことが新聞で報じられましたが、村の接種者の中には、副反応の報告はありません。

*山口議員から他にこのような質問もありました。

◇雨水排水の整備・解消に係る問題の解決について

議会活動の報告

定例会以外の活動を報告します。

議員・職員合同研修会

10月2日、長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会が開催され、来賓として衆参両院の国会議員や県議会議員をはじめ、各町村長が出席されました。

研修会では講師に、政治ジャーナリストの泉宏氏を招いて「混迷政局を読むー消費税攻防の舞台裏と解散」という演題で、講演が行われました。泉氏は、時事通信社に入社（昭和47年）し、首相官邸記者クラブの田中角栄首相番として政治記者を務め、以来、日本政治の中枢を記者として取材してきた経験から、現在の中央政治の舞台裏を見通した話をされました。



泉 宏 氏

海岸の一斉清掃に参加

9月17日に一松海岸でおこなわれた、九十九里海岸クリーン対策事業に有志が参加しました。

277名が参加し、可燃ごみ600キログラム、不燃ごみ240キログラムを回収することができました。



委員会からの調査報告

給与条例委員会委員長報告

平成24年6月会議において、議案第34号は、長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正についての調査特別委員会（委員長 東間永次）に審査を付託されました。

付託された議案について特別委員会では、これまで臨時職員等の給与は要綱で違法に支出されていたため、条例により適正に支出されるよう、審査を実施しました。6月21日、7月5日、8月17日の3日にわたり委員会を開催しました。

調査した結果は、議会定例会9月会議において委員長から報告がありました。

報告の内容は次のとおりです。

委員会の審査報告は、原案を可決と決定する。

なお、次のとおり付帯決議を付することに決定しました。

定員適正化計画を踏

まえながらも臨時職員

の正規採用並びに構造

改革特別区域の認定等

により、採用の拡大を

検討し、速やかに臨時

職員の雇用の適法性を

はかることを要望す

る。



産業土木常任委員会所管事務調査

●調査事項

長生村信友笹島1297番地の1、村有地約4ヘクタールの埋め立て状況について

●調査実施日

平成24年6月21日(木)

●調査委員

委員長 片岡 啓治

副委員長 矢部 眞男

委員 高山 昌治

委員 増子 勇男

執行部より、小川建設課長、田中主幹、三上管理係長、江澤主任主事が出席。

●調査結果

①現況は公共工事等で発生する残土を利用し、ほぼ割埋め立てられている。

しかしながら、舗装ガラの混在が若干見受けられた。

②埋め立て完了後の利用については、具体的な計画がなされていないとのことであった。

●意見

①舗装ガラの適切な処理を求める。

②地域防災計画の策定にあわせ、一時避難場所としての整備を検討されたい。

③財源確保の一環として、アクセス道路を整備するとともに企業誘致の検討をされたい。

④具体的な利用計画が策定されるまでは、草刈り等の適切な管理を求める。



議会 日誌

*議長・議員が出席または参加の主な行事

9月	10月	11月	12月
19日	19日	1日	3日
議会改革特別委員会	長生郡議員・職員合同研修会	宮城県美里町議会視察団来庁	長生郡市負担金審議会
20日	2日	3日	4日
定例会9月会議	議会だより編集委員会	長生むら文化祭・産業まつり	議会運営委員会
21日	5日	4日	11日
関東町村議会議長会会長会議	東日本町村議会議長会会長会議	長生むら文化祭	定例会12月会議
24日	10日	6日	14日
郡議長会臨時会	東日本町村議会議長会会長会議	決算審査特別委員会	千葉県都市計画審議会
25日	11日	7日	16日
郡議長会臨時会	議会だより編集委員会	千葉県町村議会議長会定例会	津波避難タワー・築山公園視察
26日	15日	8日	17日
広域組合決算審査特別委員会	議会だより編集委員会	千葉県町村議会議長会定例会	茂原市市制施行60周年記念式典
28日	16日	9日	18日
保育所秋季運動会	議会だより編集委員会	正副議長自治研修会	広域組合議会定例会
29日	17日	13日	29日
	議会だより編集委員会	全国町村議会議長会	
	18日	14日	
	議会だより編集委員会	第56回全国町村議会議長大会	
	19日	15日	
	議会だより編集委員会	議員派遣	
	20日	16日	
	議会だより編集委員会	津波避難タワー・築山公園視察	
	21日	17日	
	議会だより編集委員会	茂原市市制施行60周年記念式典	
	22日	18日	
	議会だより編集委員会	広域組合議会定例会	
	23日	19日	
	議会だより編集委員会		
	24日	20日	
	議会だより編集委員会		
	25日	21日	
	議会だより編集委員会		
	26日	22日	
	議会だより編集委員会		
	27日	23日	
	議会だより編集委員会		
	28日	24日	
	議会だより編集委員会		
	29日	25日	
	議会だより編集委員会		
	30日	26日	
	議会だより編集委員会		
	31日	27日	
	議会だより編集委員会		
		28日	
		議会だより編集委員会	
		29日	
		議会だより編集委員会	
		30日	
		議会だより編集委員会	
		31日	
		議会だより編集委員会	

皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴してみたいか、ぜひ聞いてみましょう。

傍聴席は先着順で32席です。手続は、3階傍聴席入り口で、氏名・住所・年齢を記入してください。



次の「議会定例会12月会議」は12月11日(火)から開催の予定です。

また、議会だよりに対するご意見ご感想をお寄せください。お問い合わせは下記まで。

長生村議会事務局

直通：32-4744 FAX：32-1194

編集後記

10月21日の午前10時、地震津波避難訓練が行われ、議会も訓練に参加しました。今年度は県が調査し、公表した中で最大の災害規模である津波高10mを想定した避難訓練でした。

昨年の訓練と違うところは、自治会ごとに分けた避難者名簿の作成や、地震発生後30分にとどこまで避難できたかを記録することなどで、いざというときの心構えを住民が体験することになりました。

千葉県の浸水予測図では10mの津波で海岸から一松小学校付近まで浸水が見込まれます。

一宮川沿いの金田地区は浸水しないという予測ですが、過去に大雨で一宮川があふれた経験から、万が一を考えての訓練が必要だと思います。